



令和4年度決算で見る 米原市のお金の使い道

市議会第3回定例会で令和4年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告し、それぞれ認定されました。市民の皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われたか、概要をお知らせします。

※市民一人当たりの金額は令和5年4月1日現在の人口(37,593人)で算出しています。また、円グラフ内の()は構成比を表しています。

市 財政契約課 ☎53-5165 ☎53-5148

令和4年度一般会計の決算状況

民生費

市民の皆さんの一定水準の生活と安定した社会生活を保障するため、障がいのある方や高齢の方に対する福祉の充実、子ども手当の支給や子育て支援に使われる経費です。

■ 前年度比：4億7,312万円 ↓減

総務費

市の全般的な管理を行うための事務経費です。市が所有する土地や建物など財産の維持管理、職員の給与、広報に使われます。

■ 前年度比：9,139万円 ↓減

教育費

教育環境の向上や学校施設の管理、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興などのために使われる経費です。

■ 前年度比：3億1,259万円 ↑増

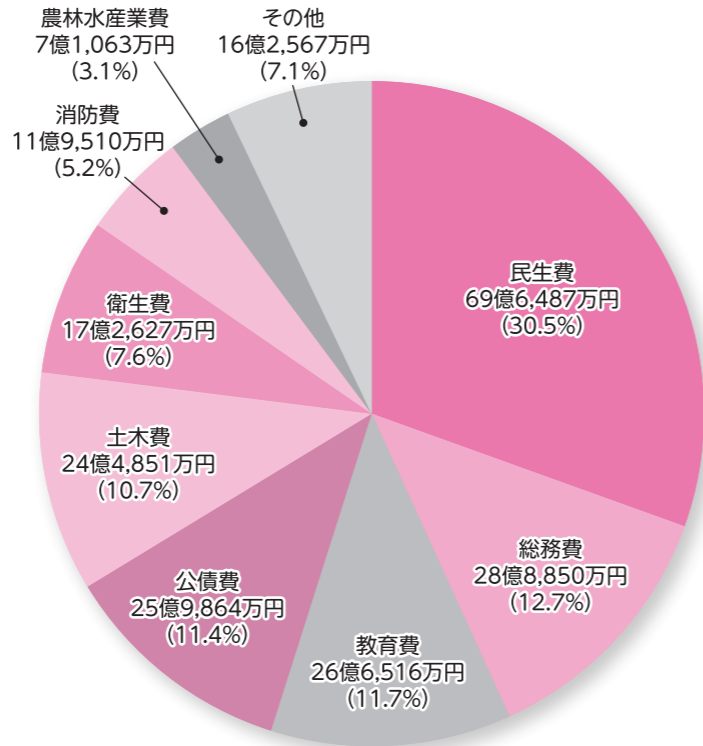
土木費

道路や河川、公園などの整備、都市計画などまちづくりのために使われる経費です。

■ 前年度比：1億1,925万円 ↓減

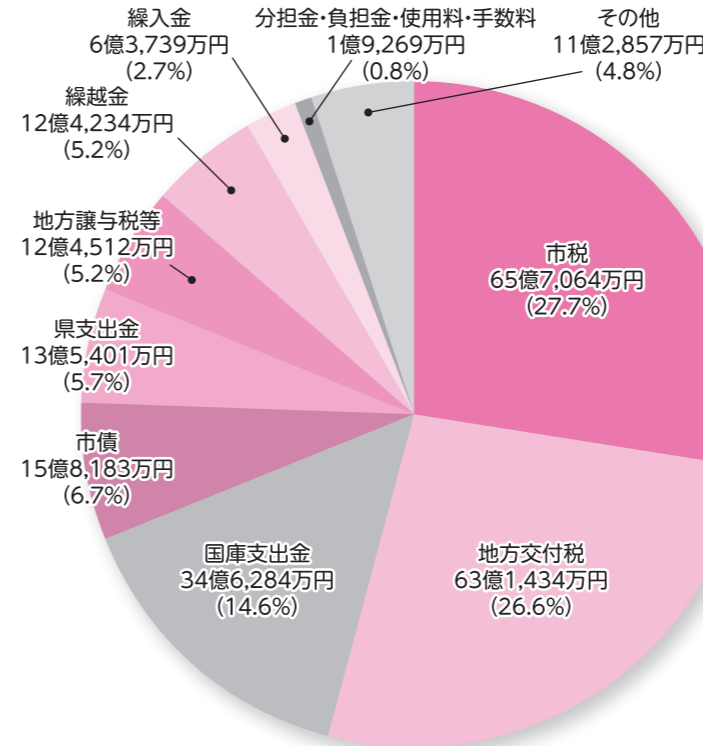
歳出総額
228億2,335万円
市民一人当たり 約60万7千円

■ 前年度比：1億4,824万円 ↑増



歳入総額
237億2,977万円
市民一人当たり 約63万1千円

■ 前年度比：1億8,768万円 ↓減



Point
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が収束しない中、ロシアのウクライナ侵攻による原油や物価の高騰等の影響が家庭や企業へ波及した年となりました。こうした中、市民の暮らしを守ることを最優先に、感染拡大予防対策、ワクチン接種などを推進しながら、原油価格・物価高騰等に対応するため市民の皆さんに寄り添った様々な施策を展開しました。

市税

市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の収入の約3割を占める最も重要な収入源です。

■ 前年度比：5,664万円 ↑増

地方交付税

全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国税および地方税の一定割合を市の財政規模などに応じて配分されるお金です。

■ 前年度比：6,016万円 ↓減

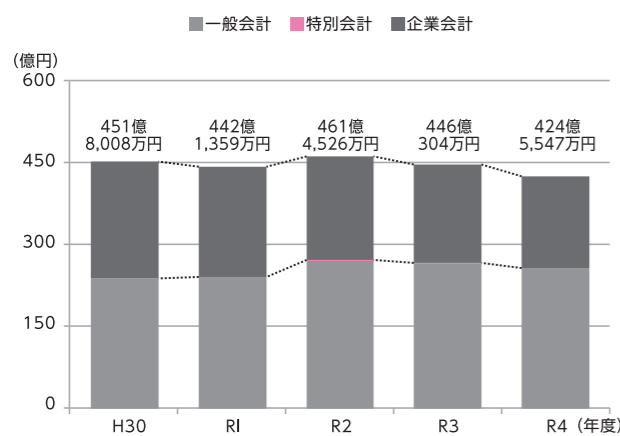
市債

施設や道路の整備など多額の資金が必要な場合に国や金融機関から借り入れるお金です。

■ 前年度比：2億42万円 ↓減

借金と貯金のこと

借金 (市債)

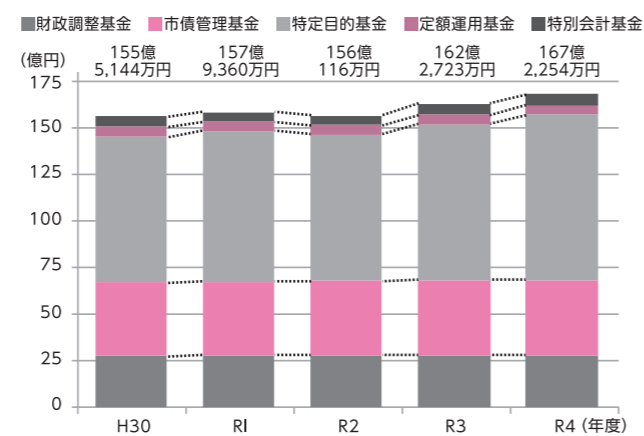


期限前に返済したこと等により
令和3年度から21億4,757万円
減少しました。

※返済金の一部が地方交付税で補てんされる有利な市債を優先して借入を行っています。

市民一人当たり 約112万9千円

貯金 (基金)



交通対策促進基金等の
積み立て等により
令和3年度から4億9,531万円
増加しました。

市民一人当たり 約44万5千円

市税のこと

市民の皆さんに納めていただいた税金の決算額は65億7,064万円
で、内訳は下記のとおりです。

市民一人当たり 約17万5千円

Pickup
市税のうち、使い道が決められているのが入湯税と都市計画税です。入湯税は環境衛生施設の維持管理や消防施設の整備等に、都市計画税は下水道事業や都市計画事業の借金返済に使いました。

市税決算額内訳

市税内訳	決算額
個人市民税	21億674万円
法人市民税	4億549万円
固定資産税	35億2,772万円
軽自動車税	1億5,841万円
市たばこ税	2億5,350万円
鉱産税	605万円
入湯税	1,751万円
都市計画税	9,522万円
合計	65億7,064万円
(内訳)現年課税分	65億5,074万円
(内訳)滞納繰越分	1,990万円

入湯税が使われた事業

事業名	決算額	特定財源	一般財源	うち入湯税
環境衛生施設の維持管理	3,905万円	0万円	3,905万円	1,460万円
消防施設等の整備	680万円	450万円	230万円	86万円
観光施設の整備	63万円	0万円	63万円	23万円
観光振興	487万円	0万円	487万円	182万円
合計	5,135万円	450万円	4,685万円	1,751万円

都市計画税が使われた事業

事業名	決算額	特定財源	一般財源	うち都市計画税
下水道事業	1億6,953万円	3億6,378万円	8億3,945万円	9,510万円
地方債(都市計画事業)の償還	10億3,370万円	0万円		
合計	12億323万円	3億6,378万円	8億3,945万円	9,510万円

令和4年度市民一人当たりの歳出決算額と主な事業

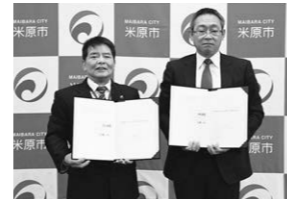
主な事業について、市公式ウェブサイトにおいて、「令和4年度主要施策の成果説明書」を掲載しています。右記QRコードよりご覧ください。



衛生費 各種検診、環境対策などのために

- ▶主な事業
 環境対策事業(湖北広域行政事務センター負担金、地域脱炭素推進ほか)
 新型コロナウイルス感染症対策事業(ワクチン接種推進)
 予防対策事業(インフルエンザ等予防接種、狂犬病予防事業ほか)

市民一人当たり
約4万6千円
 4億8,942万円
 1億9,817万円
 1億934万円



【地域脱炭素化に関する連携協定】

民生費 子どもや障がい者、高齢者のために

- ▶主な事業
 自立支援給付事業(障がい福祉サービスや施設入所・通所に係る支援)
 私立保育所等運営事業(私立園の運営支援ほか)
 社会福祉施設管理運営事業(ケアセンターいぶぎ、ふくしあなどの管理ほか)

市民一人当たり
約18万5千円
 11億9,696万円
 7億2,598万円
 5億832万円

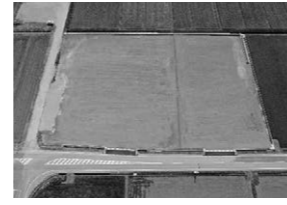


【ケアセンターいぶぎの管理】

消防費 消防や火災予防、災害対策のために

- ▶主な事業
 湖北地域消防組合事業(消防組合運営負担金ほか)
 市消防団事業(団員報酬、出勤手当、分団活動交付金ほか)
 災害対策事業(消防防災施設器具整備補助、防災情報伝達システム関連ほか)

市民一人当たり
約3万2千円
 9億9,998万円
 6,487万円
 5,642万円



【(仮称)米原消防署造成地】

総務費 市政の運営や自治会、まちづくりのために

- ▶主な事業
 電算管理事業(電算システム関係、自治体マイナポイント付与業務ほか)
 ガンバレ米原応援事業(ふるさと納税制度を活用した地域経済活性化ほか)
 公共交通対策事業(コミュニティバスおよびコミュニティタクシーの運行)

市民一人当たり
約7万7千円
 3億8,683万円
 2億7,361万円
 1億5,744万円



【米原多和田線開通】

農林水産業費 農業振興、獣害対策などのために

- ▶主な事業
 農業振興支援事業(中山間地域等直接支払交付金ほか)
 農村整備事業(防災重点ため池の耐震化、農業水利施設等の改修ほか)
 鳥獣対策マスタープラン推進事業(有害鳥獣駆除委託ほか)

市民一人当たり
約1万9千円
 1億1,256万円
 6,647万円
 4,792万円



【シカ捕獲状況】

教育費 小中学校等の施設管理や文化・スポーツ振興のために

- ▶主な事業
 小中学校施設整備事業(双葉中学校長寿命化改良工事ほか)
 学校給食事業(食物アレルギー対策、特色ある給食、施設修繕ほか)
 学びあいステーション管理運営事業(各施設の管理運営、維持修繕)

市民一人当たり
約7万1千円
 5億3,582万円
 3億8,054万円
 2億151万円

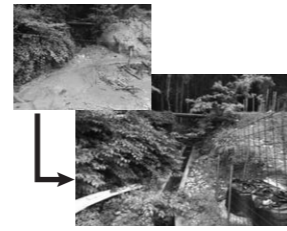


【双葉中学校長寿命化改良工事】

その他(議会費、商工費、災害復旧費など)

- ▶主な事業
 議会運営事業(議会だより等による情報発信、政務活動費ほか)
 商工振興事業(コロナ対策市内事業者支援事業、工場等設置促進ほか)
 災害復旧事業(令和3年8月豪雨・令和4年7月豪雨による災害の復旧)

市民一人当たり
約11万2千円
 1億1,121万円
 1億1,410万円
 3,963万円



【上野地先勝山谷土砂撤去】

土木費 道路や河川の整備、除雪などのために

- ▶主な事業
 道路新設改良事業(市道改良事業、県道道路整備事業負担金ほか)
 除雪事業(市道除雪、凍結防止剤散布、消雪施設整備ほか)
 公園検討事業((仮称)磯公園整備ほか)

市民一人当たり
約6万5千円
 2億8,808万円
 2億4,484万円
 1,049万円



【市道顔戸八田羽織線改良工事】

令和5年度上半期の予算執行状況(4月1日~9月30日)

9月末で令和5年度も半年が経過しましたので、予算の執行状況をお知らせします(令和4年度からの繰り越し含む)。

区分	予算額	収入額(収入率)	支出額(執行率)	
一般会計	234億2,355万円	111億3,522万円(47.5%)	87億6,587万円(37.4%)	
特別会計	国民健康保険事業	34億7,800万円	12億9,618万円(37.3%)	14億831万円(40.5%)
	介護保険事業	45億1,678万円	19億3,139万円(42.8%)	17億9,878万円(39.8%)
	後期高齢者医療事業	5億3,300万円	1億8,620万円(34.9%)	2億4,795万円(46.5%)
	駐車場事業	930万円	701万円(75.4%)	151万円(16.2%)
	小計	85億3,708万円	34億2,078万円(40.1%)	34億5,655万円(40.5%)
合計	319億6,063万円	145億5,600万円(45.5%)	122億2,242万円(38.2%)	

区分	予算額	収入額・支出額	収入率・執行率
企業会計 水道事業	収益的収入	9億6,491万円	3億1,578万円 32.7%
	収益的支出	8億2,518万円	2億3,327万円 28.3%
	資本的収入	4,761万円	6億6,145万円 1,389.3%
	資本的支出	16億3,991万円	12億9,115万円 78.7%
企業会計 下水道事業	収益的収入	20億8,055万円	10億1,652万円 48.9%
	収益的支出	17億9,419万円	2億6,259万円 14.6%
	資本的収入	15億663万円	4億6,813万円 31.1%
	資本的支出	19億5,389万円	9億4,575万円 48.4%

Pickup
●収益的収支
 日常の経営活動に使われるお金
●資本的収支
 施設の建設や設備投資に関わるお金(将来の経営活動の基本となり、収益に結びついていくもの)

令和4年度特別会計・企業会計の決算状況

特別会計と企業会計は、特定の収入(保険料や使用料など)により特定の事業を行うため、一般会計と区分している会計です。

区分	歳入	歳出	収支差引額
特別会計			
国民健康保険事業	34億97万円	33億9,837万円	260万円
介護保険事業	45億7,258万円	44億7,765万円	9,493万円
後期高齢者医療事業	5億2,409万円	5億1,498万円	911万円
駐車場事業	1,194万円	1,105万円	89万円
合計	85億958万円	84億205万円	1億753万円

区分	収入	支出	収支差引額	
企業会計 水道事業	収益的収支	8億3,742万円	7億7,449万円	6,293万円
	資本的収支	1億2,393万円	9億3,269万円	▲8億876万円
企業会計 下水道事業	収益的収支	22億5,551万円	20億1,165万円	2億4,386万円
	資本的収支	11億5,884万円	19億5,742万円	▲7億9,858万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は損益勘定留保資金等で補てんしました。

市の財産の状況 令和4年度末の現在高と令和4年度中の増減をお知らせします。

土地	建物	商標権	有価証券	出資による権利	物品	債権
1,883,640㎡ (249㎡減)	215,722㎡ (1,458㎡減)	7件 (増減なし)	1,624万円 (400万円増)	2億1,284万円 (増減なし)	458点 (4点増)	6億2,954万円 (2,008万円増)